



今年は人間ディスクドッグも行われました

6月7日、8日の2日間にわたって「ディスクドッグジャパンカップ2008」が開催されました。

週間天気予報では、2日目は雨の予報も出ていましたが、梅雨の合間ともいえる絶好の天気に恵まれました。

鳥羽市で開催されるのは7回目であり、ジャパンカップ、つまり日本一決定戦としては

犬の代わりに3人の人間が走り、
つて、ディスクを受けるとい
うもので、13チームの参加が
あり、会場を大いに沸かせま
した。わたしも「市長と3匹
の侍」というチーム名で、市
職員とともに参加しました。
にわか練習では、良い成績
は得られませんでしたが、「見
ているだけ」より、「参加する」
喜びが大きいことを体験しま

は、「鳥羽へ行こう」が合言葉になつてゐることで、彼らにとつて「聖地鳥羽」のイメージが定着してきていることは、鳥羽市民としては、うれしい限りです。

今年は、人間デイスクドッグも同時に開催されました。

6回目となりました。

が作り出す別世界がそこには存在していたように思います。人間と愛犬の間の信頼関係がしっかりと築かれていました。この大会のために、日本ディスクドッグ協会のかたがた、観光協会や商工会議所、市職員、その他多くの努力が実つて、鳥羽市におけるディスクドッグ大会がますます発展していくことを期待しています。

た。人間、ディスクドッグの開催の影響もあつたかもしません。入れ代わり立ち代わり訪れる人たちの数は、延べ人数にすれば、かなりの数に上つたのではないでしようか。

また、競技の勝敗も重要なことでしょうが、人間と愛犬

良いことかなと思います。

**市民課で人権に関する
本の貸し出しをしています**

本を貸し出すといえば、ま
ず図書館を思い浮かべると思
いますが、それとは別に、市
民課で人権に関する本の貸し
出しをしているのをご存じで
しょうか。

市民課では、人権に関して
もつと知つてもらいたいと、
窓口前の記入台の隣に本棚を
設置し、来庁されたみなさん
に見ていただきのと同時に、
本の貸し出しありも行つていま
す。人権の本というと、文章
ばかりの難しい本というイメ
ージを持つてしまうかもし
れませんが、漫画や点字付

A woman with a ponytail and a red apron is sitting at a table, reading a book to a young child who is looking up at her with a smile. The scene is set in a simple room with a window in the background.

で借りた本の返却も受け付けています。

こうした機会を利用して、たくさんの本に触れてください。みんなのご利用をお待ちしています。



木田市長 の



vol.35

「ディスクドッグの聖地・鳥羽」

ディスクドッグの聖地鳥羽として、市民運動会や各学校の運動会にも、人間ディスクドッグの競技を取り入れていけば、面白いのではないかと感じました。

の絵本など、親しみやすい本もあります。21世紀は人権の世紀といわれています。しかし、最近では、インターネットを使つた差別的な書き込みなどの人権侵害が後を絶たず、数々の問題が発生しています。

多くのかたがたが、差別をなくそうと長年努力を重ねてきましたにもかかわらず、まだまだこうした差別があります。人権に関する本を読むこと

人権文化の 花を咲かせよう

Vol.74

の絵本など、親しみやすい本もあります。